



条幅規定

師範正 石田 一義

直線を効かせた強さの中にも丸みを感じられ、余白の生きた明るさのある作品である。無理な用筆、過美な表現も抑えられ、自然体で腕の確かさを感じられる。「成家」への挑戦を！

条幅随意

成家 秋永 春霞

お手本に捕われることなく、自己の感性を信じ、活かし、真面目に書に取り組む姿勢が良い。芸術は構築と破壊の繰返しである。今年は新しい秋永ワールドに期待している。

条幅随意(臨書)

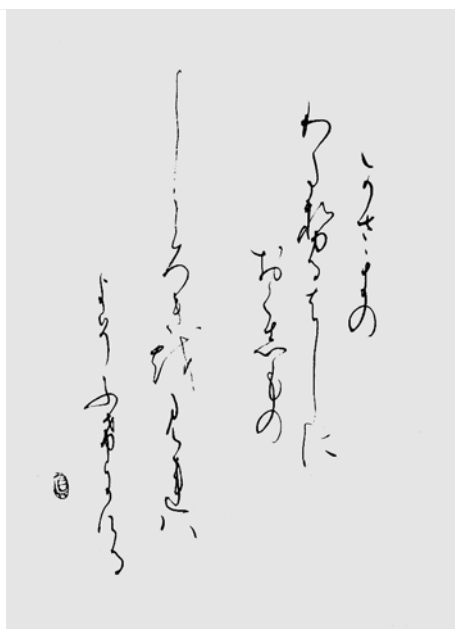
師範正 池田 白梨

や、顔真卿の重厚感、ねばり強さは欠けるものの、古典学習の基本である形臨は細部まで注意を払い、良く書けている。今年は筆・墨・紙にもこだわりの持つてチャレンジしよう。

半折
1/2
横

成家 松原 華月

木簡の用筆を取り入れた日頃
にない表現方法に驚かされた。
書は時代性であり、作家もつね
に変化しなければならぬ。松
原ワールドが開花しつつある。
今年も期待している。



半紙規定

師範正 角大鳥居美美

自然な運筆で纏め上
げ、運筆の細やかな変
化が作品に華やかさと
優雅な趣が表現され、
完成度の高い作品と
なった。更なる精進に
期待する。

半紙随意

師範 副島真知子

たっぷりの潤筆で書
き出し、巧みな筆先の
ながれに迷いなく、会
得した古筆がよく表現
され、王朝の音楽が聞
こえてくるムードがあ
る。

半紙随意(臨書)

師範 由留部裕美子

運腕大きく、俯仰の
筆の動きが鮮やかに感
じとれる作品である。
ほどよい渴筆も効いて
躍動感のある秀作で、
これからの精進が期待
される。



学生部条幅 (1/4)

小六 準四段 古賀くるみ

明るくすっきりとした線で、バランス良く書けています。今後は、名前の練習にも力を入れて、さらに上の段を目指して下さい。

日高 玲音

小二 6級

基本のふでづかいがしっかりとできています。形もよくととのつていて、りっぱな筆遣いを感じます。これからも練習を続けて、さらに上の段を目指して下さい。

森田 美里

小三 準二段

紙のつばに美里さんの元気があふれた伸びやかな作品です。今の気持ちに合わせ、これからも練習を続けて、さらに上の段を目指して下さい。

田島 未夢

小五 準四段

難しい課題でしたが、全体のバランスも良く、明るい作品に仕上がった腕は、さすが有段者ですね。今後、さらに期待しています。

西村 爽

小五 初段

字形が良く整って、丁寧な書けています。名前もしっかりと練習ができていて、上位有段者には負けない力を持っています。

吉田 京香

小六 準三段

明るく伸びのある線が、とても魅力的な大らかな作品です。京香さんとても良い線を持っていますね。今後、さらに期待大です！

糸園 千紘

中一 特待生

部活・勉強との両立を続けてきた頑張りが見え、結びましたね。力強く堂々とした作品です。今後は、リズム感を大切に頑張ってください。

永通 柊真

小一 準6級

げんきいっぱい、とてもよい字がかけましたね。なまえていねいにかけています。これからもがんばってね。

龍 香穂

小四 準二段

ふでに墨をたづねると、ふくませて力のこもった線で、どのよう書けています。一枚でも多く練習をして、さらに上を目指して下さい。

神田 祐輔

小六 六段

温か味と伸びやかさのある線は、祐輔さんの宝物ですね。中学生になっても続けて、特待生を目指して下さい。期待しています。

山本 莉々

中二・三 特待生

とても難しい課題でしたが、まとまりのある明るい作品です。お手本の観察力が見事です。一般部へも挑戦してみましよう。

硬筆部最優秀作品

(12月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

エルフをしか
つていながら、
みんなは、エルフ
が大すぎだった。
が、やまもとや、え

おじいさんは、すっかり
元気になり、おばあさ
んと二人なかよく、幸
せに長生きしました。
三年 渡辺莉音

いい友達がいなくなって
さびしいよ。もどってきて
くれないかな。二セント玉
をにぎって、小声で言った。
田中さくら

同じ話を聞く場合でも、目的によっ
て必要な情報が異なることがある。
翌日の天気を知りたいときと、一週
間後の天気を知りたいときとは、
天気予報の聞き方も違ってくる。
平田歌穂

歌を作るのがす
きな すみれちゃ
んが、また一つ、
歌を作りました。
小林 由な

おじいさんは、すっかり
元気になり、おばあさ
んと二人なかよく、幸
せに長生きしました。
自見祐花

インターネットで問いを発信
してみる。すると、見知らぬ人
から親切な答えがとどくとい
うような出来事に、あなたは今
後出会うかもしれません。
北山 琴夏

その星座の美しさを、あきらめて
、この度、投稿をお返す下さ。まー
て、誠にありがとうございます。喜んで
頂戴いたします。はい、え、ちうも、お返
すお返に、な、お返すので、遅いお返、
な、お返す。
時節柄、お返すお返す、お返す、お返す、
ご自愛下さい。とり急ぎ、お返すお返す、
お返す。
輝美

歌を作るのがす
きな すみれちゃ
んが、また一つ、
歌を作りました。
ゆうとくひでき

いい友達がいなくなって
さびしいよ。もどってきて
くれないかな。二セント玉
をにぎって、小声で言った。
岩本 和夏

暮らしが変わると、古い言葉は使
われなくなりますが、複合語とし
て使い続けられることもめずら
しくありません。衣がえ「花ごよ
み」など、今も使っているでしょう。
相良 樹里

古くは酒を「玉簪」とも呼んだ。憂い
を払う美しい物にたとえてのこもた。
余す目も指の数となり、忘年会も今週
あたりが最終盤か。酒もほろ苦み
だが、くる年に望みをのける杯であらう。
門田 幾世

山本 やえ

小一 準6級
ちからのこもつ
たせんで、大き
くどうとうとか
けています。な
まえもとてもけ
んきがあります。
これからもがん
ばってね。

小林 ゆな

小二 準3級
ペンをじょうず
につかって、一
生けんめいにれ
んしゅうのでき
たりっぱな作品
です。段々め
ざしてさらにが
んばって下さい。

祐徳 英樹

小二 4級
本文・名前とも
に、お手本をよ
く見て、のびや
かに、そしてと
てもいいねいに
書いています。
これからさらに
たいしてきます。

渡辺 莉音

小三 二段
気のこもった力
強い線で、本文・
名前ともにしつ
かりと書いてい
ます。莉音さん
の自信が作品か
ら伝わってきます。
期待大！

自見 祐花

小三 初段
お手本をよく観
察して、明るく
すっきりと書け
ています。三行
目の下の方がつ
まった点に気を
つけるとともに
良くなります！

岩本 和夏

小四 三段
作品が「キラキ
ラ」と光ってい
ます。日ごろか
らよくがんばっ
ていますね。こ
れからも今の気
持ちは忘れずに
続けて下さい。

田中 さくら

小四 二段
ペンをじょうず
に使い、お手本
をよく見て、ね
いに書いていま
す。これからの
さくらさんの成
長が楽しみです。
がんばってね。

北山 琴夏

小五 準五段
四行目の下部が
少しつまった点
はおしかったの
ですが、明るく
びやかな線で、
大らかに書けて
います。今後さ
らに期待します。

相良 樹里

小六 六段
さすが上位有段
者の作品ですね。
本文・名前とも
に完成度の高い
明るい作品で
す。中学生にな
っても「特待生」
を目指して頑張
ってね。

平田 歌穂

中学 特待生
本文から名前ま
で気をぬかず、
集中して完成度
の高い作品に仕
上げた腕はさす
が「特待生」で
ね。一般部へ挑
戦してほしいです。

園田 輝美

一般 師範正
音楽を奏する
ような自然な流
れがあります。
自己のリズムで
全体を無理なく
明るくまとめた
いる点に腕の確
かさを感じます。

門田 幾世

一般 師範正
行の中心が少し
気になりますが、
毛筆の用筆をペ
ンにも生かしな
がら、自然な流
れで伸びやかに
書かれた明るい
作品です。